

財政収支(1-7月)

(1) 1-7月の歳入は前年同期比46.8%増、税収は同49.6%増。歳出は前年同期比42.4%増。
(2) 1-7月の財政収支は10,043.40億リラの赤字、プライマリーバランスは2,416.88億リラの黒字。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2024年1-7月(A)	2025年1-7月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	45,622.95	66,954.94	46.8%
税収	38,251.06	57,212.93	49.6%
所得税	7,397.71	14,465.34	95.5%
法人税	4,801.78	5,508.71	14.7%
付加価値税(国内及び輸入)	12,657.65	17,549.72	38.6%
特別消費税	7,435.15	10,243.13	37.8%
その他税収	5,958.77	9,446.03	58.5%
税外収入等	7,371.89	9,742.01	32.2%
歳出(b)	54,062.54	76,998.34	42.4%
人件費	15,318.06	20,698.81	35.1%
物品及びサービスの購入	3,306.43	4,933.03	49.2%
経常移転	21,058.29	29,013.31	37.8%
資本支出	3,726.70	5,493.25	47.4%
支払利子(c)	6,669.62	12,460.28	86.8%
その他歳出	3,983.44	4,399.66	10.4%
財政収支(a-b)	▲ 8,439.60	▲ 10,043.40	▲ 19.0%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲ 1,769.97	2,416.88	236.5%

経常収支(1-6月)

(1) 1~6月の経常収支は、230.92億ドルの赤字(前年同期は143.59億ドルの赤字)。
(2) 1~6月の貿易収支(物品)は370.58億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は188.48億ドルの黒字で前年同期から黒字幅は拡大。

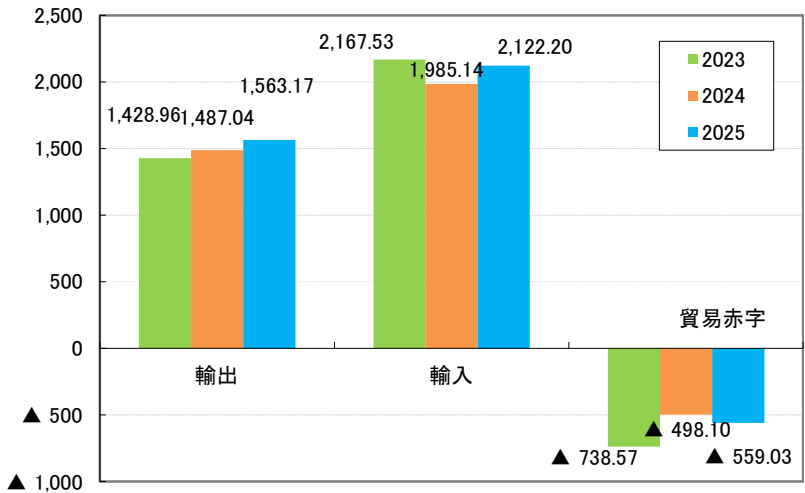
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2024年1~6月(A)	2025年1~6月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 143.59	▲ 230.92	▲ 60.8%
貿易収支(物品)	▲ 301.10	▲ 370.58	▲ 23.1%
サービス収支	234.38	235.48	0.5%
旅行収支	185.13	188.48	1.8%
第1次所得収支	▲ 75.72	▲ 92.81	▲ 22.6%
第2次所得収支	▲ 1.15	▲ 3.01	▲ 161.7%
労働者送金	0.36	0.29	▲ 19.4%
資本移転等収支	▲ 0.28	▲ 0.05	82.1%
金融収支	▲ 207.14	▲ 267.97	▲ 29.4%
直接投資	▲ 22.51	▲ 18.74	16.7%
証券投資	▲ 100.67	58.87	158.5%
その他投資	▲ 21.21	▲ 36.43	▲ 71.8%
外貨準備	▲ 62.75	▲ 271.67	▲ 332.9%
誤差脱漏	▲ 63.27	▲ 37.00	41.5%

貿易収支(1-7月)

(1) 1-7月の輸出額は1,563.17億ドル(前年同期比5.1%増)、輸入額は2,122.20億ドル(同6.9%増)となり、この結果、貿易収支は559.03億ドルの赤字(同12.2%赤字幅拡大)。
(2) 1-7月の輸出額におけるEU向けの割合は43.3%(前年同期は42.0%)、輸入額におけるEUからの割合は31.9%(前年同期は32.4%)となっている。

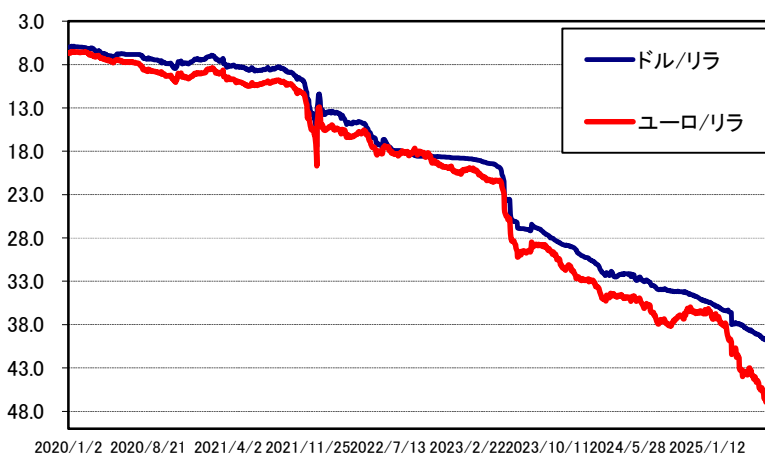
データ:統計局 単位:億ドル



為替(8月)

8月の為替相場は、特段の材料は無く、対ドル・対ユーロ共に反応は限定的。月末時点では1ドル=40.94リラ(前月末比1.06%安)、1ユーロ=47.78リラ(前月末比3.04%安)となった。

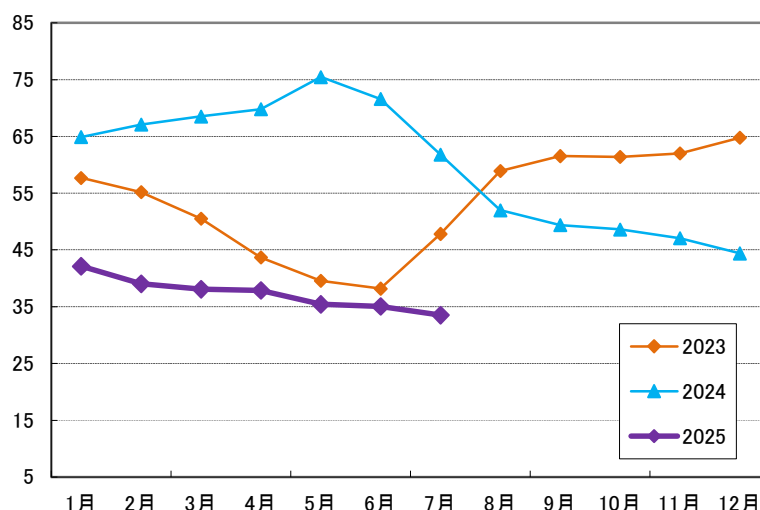
データ: 中央銀行 単位: リラ



消費者物価上昇率(7月)

(1) 7月の消費者物価は前年同月比33.52%、前月比2.06%。
 (2) 項目別にみると、前年同月比では教育が75.54%となり最も上昇した。前月比では住居が5.78%となり最も上昇した。
 (3) 国内生産者物価指数(7月)は前年同月比24.19%増、前月比1.73%増となった。

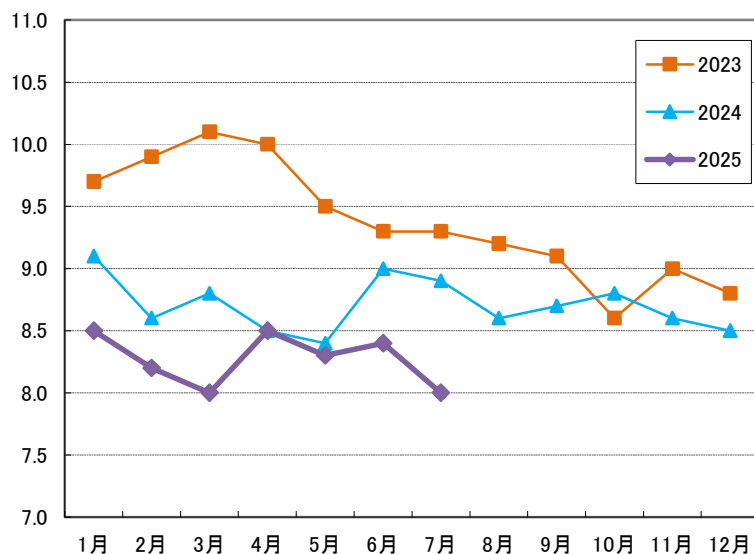
データ: 統計庁 単位: 前年同月比(%)



失業率(7月)

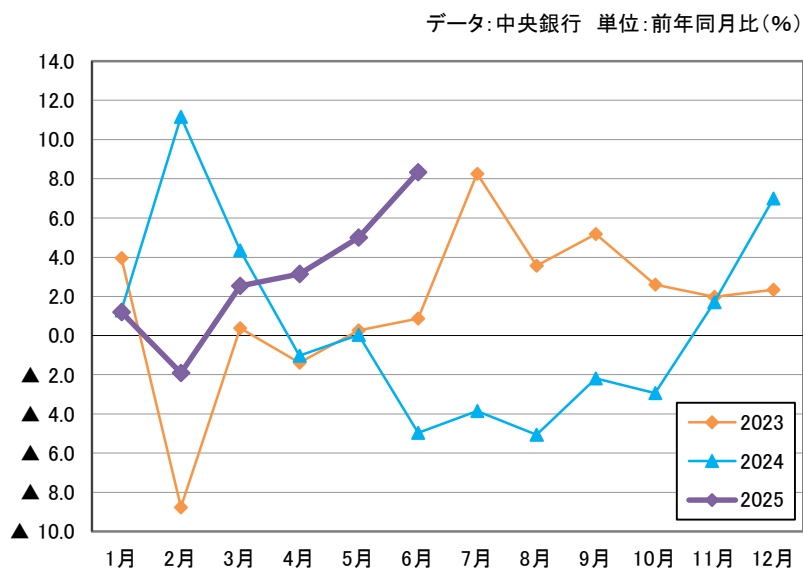
(1) 7月の失業率(季節調整後)は8.0%となり、前月から0.4ポイント低下。
 (2) 労働力人口は3,541.0万人、就労者数は3,258.2万人、失業者数は282.8万人。
 (3) 男性の失業率は6.5%、女性は10.9%。若年層(15-24歳)の失業率は15.0%となっている。

データ: 統計庁 単位: %



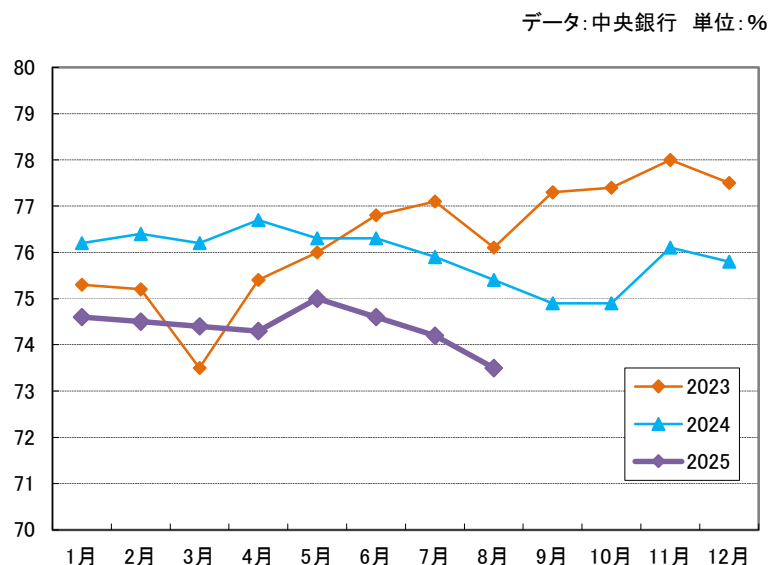
鉱工業生産(6月)

(1)6月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)8.3%増。
(2)分野別では、耐久消費財が前年同月比1.4%減、資本財が同20.0%増、中間財が同7.6%増となった。



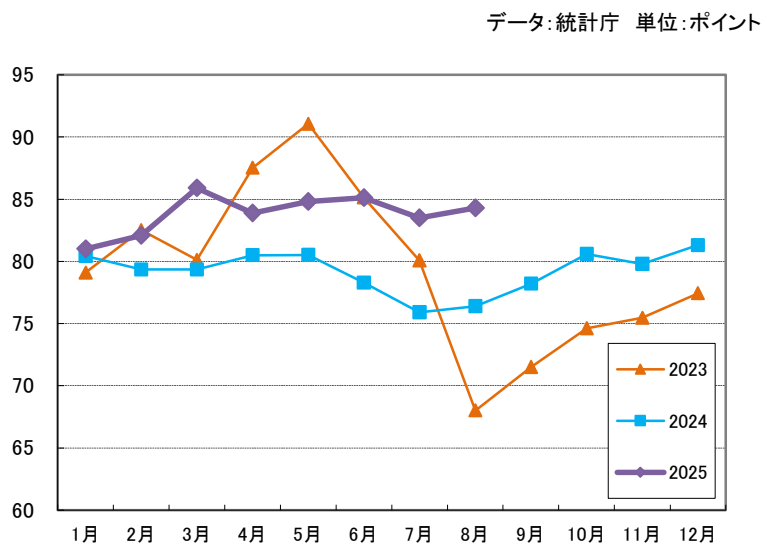
設備稼働率(8月)

(1)8月の設備稼働率は73.5%となり、前年同月から1.9ポイント低下。前月から0.7ポイント低下。
(2)製造業の分野別では、たばこ製造業(85.9%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(64.3%)が最も低い稼働率であった。



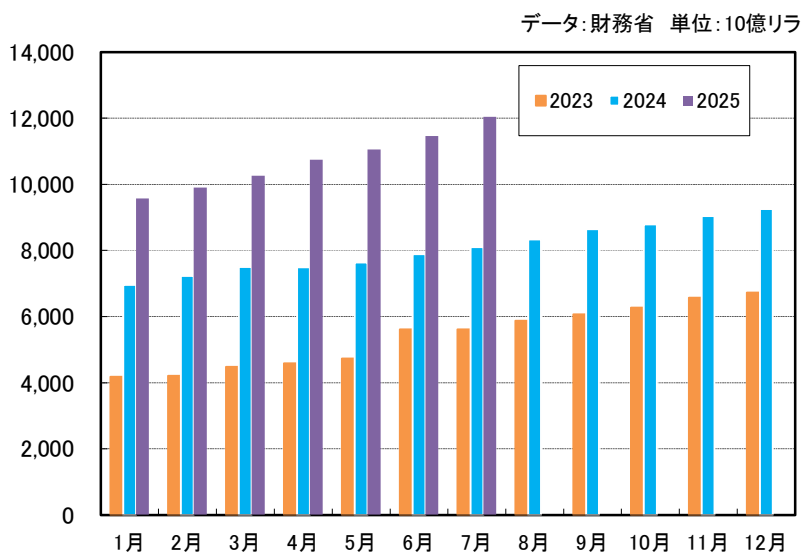
消費者信頼感指数(8月)

(1)8月の消費者信頼感指数(季節調整値)は84.3ポイントとなり、前月から0.8ポイント上昇。
(2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から上昇。「今後12か月間の家計の財政状況見通し」及び「今後12か月間の一般経済状況見通し」は前月から低下。



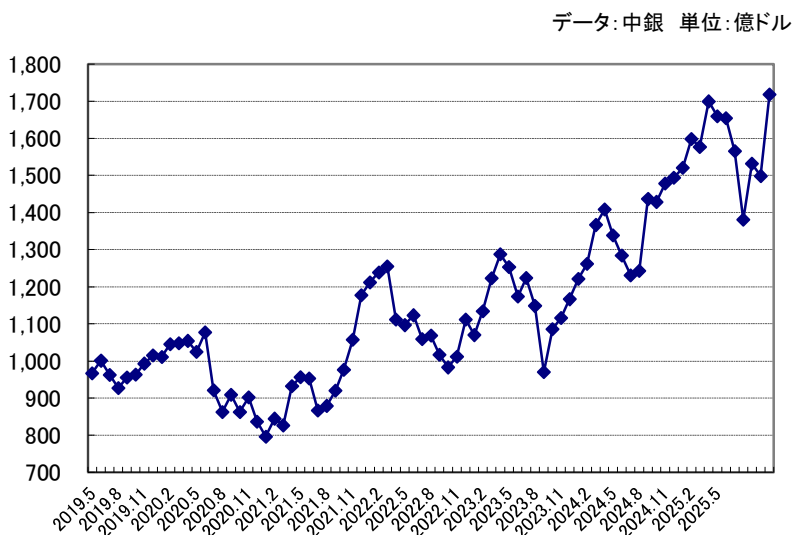
中央政府債務残高(7月)

(1)7月末時点での中央政府債務残高は12兆452億リラとなり、前年同月比48.6%増、前月比5.1%増となった。
 (2)また、国内債務比率は57.2%、自国通貨債務比率は45.8%(2024年末は43.9%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は0.4%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。



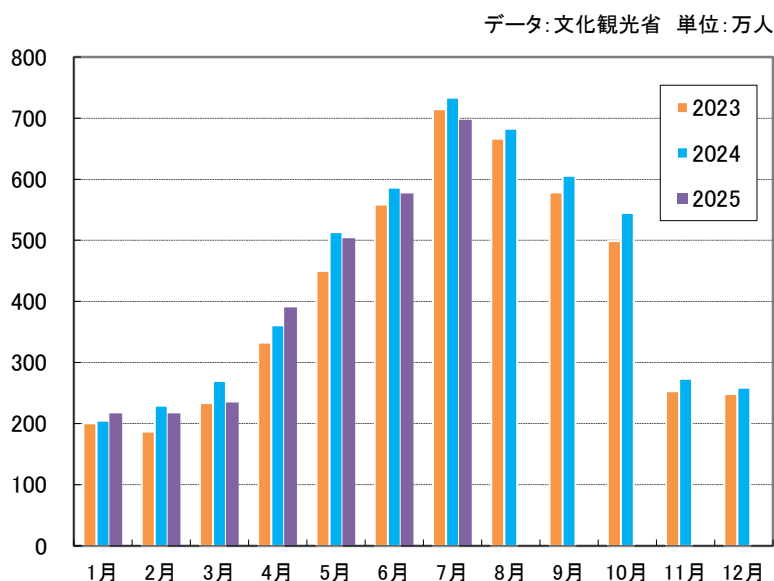
外貨準備高(7月)

(1)7月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,718.47億ドルとなった。
 (2)前月から219.50億ドル増加した。



外国人訪問者数(7月)

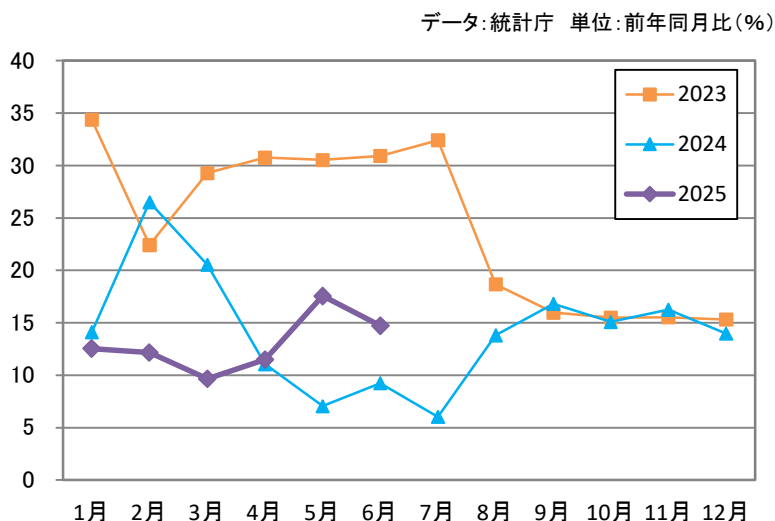
(1)7月の外国人訪問者数は6,969,546人で、前年同月比4.97%減。日本は11,209人であった(前年同月10,658人)。
 (2)国別ではドイツが最も多く、981,005人で全体の14.08%を占め、以下ロシア(953,733人)、イギリス(597,155人)となっている。



小売売上高(6月)

(1)6月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)14.7%増、前月比(季節及び日数調整後)1.3%増。

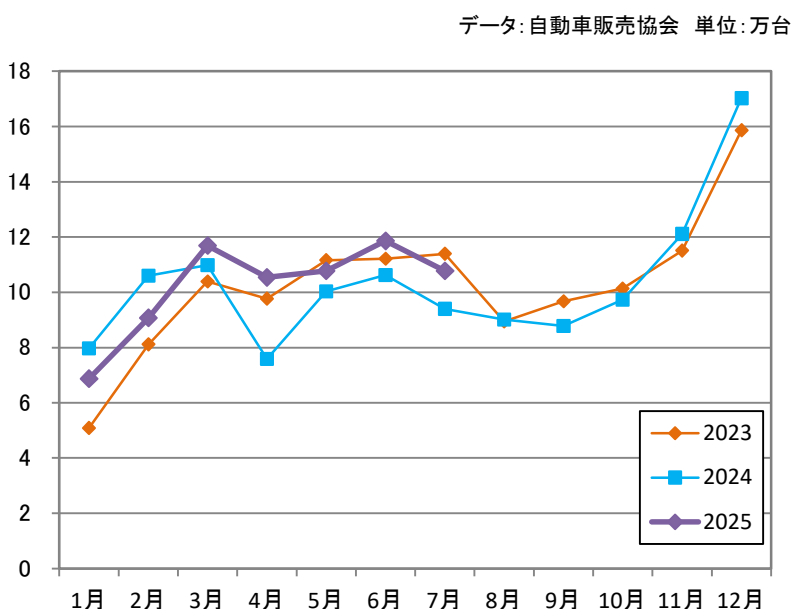
(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比10.0%増、情報・通信機器が同39.1%増となった。



新車販売台数(7月)

(1)7月の新車販売台数は107,718台で前年同月比14.6%増。

(2)7月の内訳は乗用車が84,195台(前年同月比14.7%増)、小型商用車が23,523台(同14.0%増)となった。

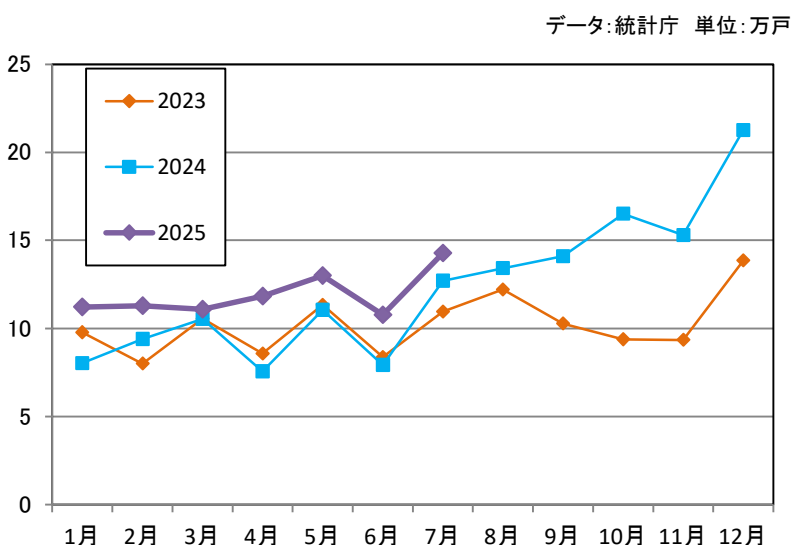


住宅販売戸数(7月)

(1)7月の住宅販売戸数は142,858戸で前年同月比12.4%増となった。

(2)7月は新築が43,984戸(前年同月比7.8%増)、中古が98,874戸(同14.6%増)。

(3)7月の住宅ローンでの購入は18,425戸(前年同月比60.3%増)、その他が124,433戸(同7.6%増)。



※本資料は、当館がトルコ政府発表資料を取り纏めた参考資料であり、当館がその正確性等を保証するものではありません。